

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

- 01-2 -

2

1

- 問二 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は [6]・[7] です。
- (a) さしあたるの [6]
- 1 今が判断が難しい
2 今ここにおいては
3 自明とはいえない
4 取るに足らない
- (b) 介入 [7]
- 1 間を取り持って手助けをすること
2 一方を集中的に非難して懲らしめること
3 間に入り込み思い通りにしようとする
4 間に立ってお互いの便宜を図ること
- 問三 空欄 [1]・[M] に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～6のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選んではいけません。解答番号は [8]・[11] です。
- 1 対照的
 - 2 歴史的
 - 3 等価的
 - 4 典型的
 - 5 総合的
 - 6 断片的

4

- 問一 傍線部①～⑤のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は [1]・[5] です。
- ① 反エイ [1]
- 1 会社のケイエイを安心して任せる
2 明日の試験に備えてエイキを煮う
3 音楽に合わせてエイソウを作る
4 エイジュウする覚悟で外国へ渡る
- ② 地シン [2]
- 1 文化のシンソウを固める
2 組織内にゲキシンが走る
3 フシンに思いついて様子を探る
4 予防接種のヨシン票に記入する
- ③ キ業 [3]
- 1 線路がブンキする
2 事業がキドウに乗る
3 転職のケイキとなる
4 会社の再建をキトする
- ④ ソウ方 [4]
- 1 母校の期待をソウケンに担う
2 夏には高原のベソソウを訪ねる
3 値引きして在庫をソウウする
4 すっかり職意をソウシツした
- ⑤ 宮テイ [5]
- 1 由緒あるテイタクに住む
2 規則にテイシヨクする行動
3 ホウテイに報道陣が詰めかける
4 ポウハテイで釣り糸を垂れる
- (加藤周一「部分と全体」による)

3

問四 傍線部①「行為が社会にとういう結果を及ぼしたか（結果責任）よりも、当事者がとういう意図をもって行動したか（意図の善悪）が話の中心になる」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は12

- 1 日本文化の中では、感情的な判断が優先されるため、過去と現在の因果関係をもって責任を追及するのは誤りだと判断されるか。
2 日本人の時間感覚は出来事が起きたそのときを「今」と認識するため、責任の所在がその時で移り変わってしまわないから。
3 日本文化の中では、「進」の出来事を切り離して順事を並べ替えることができるため、明確に結果といえるものが存在しないから。
4 日本人の時間感覚は過去と未来と関係しない「今」の連続であるため、不都合な過去は問わないようにすることができるから。

問五 傍線部②「出来事の一回性の否定は、必ずしも現在の出来事への注意の集中を弱めるのではなく、むしろ強めるように作用してきた」とは、どういふことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は13

- 1 時間は無限に循環する円周であるという時間感覚が、現在を知ることと同時に過去や未来を知ることにつながるという物の見方を強調してきたということ。
2 季節は周期的に変化しくり返すという経験的な知識から、現在も過去も未来もまったく同じことがくり返されるかどうかを確認する作業に集中してきたということ。
3 時間は無限に循環する円周であるという時間感覚が、未来まで見通す力を得たような錯覚を引き起こさないため、現在を生きる大切さを強調してきたということ。
4 季節は周期的に変化しくり返すという経験的な知識から、同じように見える一回一回の季節の中のかな差異を見いだそうとして現在に集中する感覚を強めたということ。

問六 傍線部③「本居宣長の世界観」とあるが、それはどのようなものか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は14

- 1 自分のいる場所以外の場所の存在を知りながらも、認めようとしない世界
2 自分のいる場所以外の場所の対象外で、広がりをめない世界
3 自分のいる場所を中心とし、そこに係わる限りで外部地域が存在する世界
4 自分のいる場所に先行して、世界の全体が成立しているともみず世界

問七 傍線部④「例を日本の対外的態度にとれば、根本的に変わったようにはみえない」とは、どういふことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は15

- 1 国際問題に対して、経済力や軍事力を背景とした帝国主義的な態度をとらない日本の対外的態度からは、日本を含めた同等の国家の集合が世界であるという日本古来の世界観の不変性がわかったということ。
2 国際問題に対して、各国は三つの手段を場合によって使い分けられるが、日本の対外的態度は一貫して第二の手段であることを考えると、日本はまた敗戦と占領の影響から脱しきれていないということ。
3 国際問題に対して、問題の領域全体について複数の可能性の中から利益に有利な方策を選択するという日本の対外的態度には、「古事記」以来の日本を世界の中心と見る世界観が保たれているということ。
4 国際問題に対して、自国の利益に直接関係する場合にのみ介入し利益を主張する傾向が強い日本の対外的態度を見る限り、部分が全体に先行する日本文化の伝統的な心理的傾向に変化は見られないということ。

問八 傍線部⑤「夢幻能の舞台」は本文においてどのようなものとして言及されているか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は16

- 1 「今」「こ」での経験に集中することが、現代人の文化的な洗練に寄与することを示すもの。
2 時間認識・空間認識ともに、部分が全体に先行するという日本文化の特徴を象徴するもの。
3 無限の直線あるいは円周として把握される日本文化の時間感覚を時に体感するもの。
4 時間的・空間的に切り離しても成り立つ日本文化芸術の特徴を如実に示しているもの。

問九 本文の内容と合致するものを次の1～6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は二つとも17

- 1 日本の文化的伝統といえる「こ」から世界の全体を見つめるという空間認識の仕方によって、国素だけでなく身分や所属に応じて自分の居場所が重層する日本の社会構造を生み出された。
2 国家的な問題の解決に日本が貢献するためには、共同体集団主義の文化的伝統から脱却し、世界の全体の中に部分としての日本があるという感覚を持つように意識を変えなければならない。
3 現在の出来事の意味はそれ自身で完結するという日本文化の現在主義的な時間感覚は、全体から切り離しても十分に鑑賞し得る絵巻物や随筆などの日本独自の文化を育んできた。
4 四季がくり返す日本の風土が、時間は無限に循環する円周であり出来事とそれに随ってくり返すという感覚が生み、失敗は水に流して次の機会を待つという心理的傾向を強めた。
5 日本のなまの目においては、世界全体を分割することで「こ」を作り出すのではなく「こ」と「こ」という空間とその外側の無限の広がりとの二つを合わせて世界の全体が作られる。
6 夢幻能を鑑賞すると、通常は個別に心理的傾向に影響を与えている「今」と「こ」が融合する感覚が得られるため、観客は自分が歴史上の人物の人生を追体験することが可能になる。

大問二(古文)・三(現代文)は選択問題です。解答するいずれかの大問の解答欄の右上に必ずマークした上で解答しなさい。両方の大問に解答した場合は、すべての解答が無効となります。

二次の文章は、説話集「古今著聞集」の一話です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

- 1 鎌倉の石大将(石川義経)は、後出の「幕下」も同じ。
2 景時(梶原景時)もとは平家方の武将であったが、石橋山の合戦で頼朝の命を助け、頼朝に重用された。
3 水干: 男性用の衣服である狩衣のひとつ。
4 葛の袴: 葛の繊維で織った布で仕立てた袴。
5 つかまつり(こ)では「馬を乗りこす」の意。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

- 6 烏帽子かけて：烏帽子が落ちないように紐を頷の下で結んで。
- 7 轡をそまたせたりける：手綱を付ける馬具を従者にもたせたのであった。
- 8 はげて：馬にかませる。
- 9 さし轡：轡に結んで馬の口につける紐。馬を引いたり、つないだりするときに使う。
- 10 厩の別当：厩舎の管理人。

問一 傍線部(a)の(イ)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 1 いかたすべき
- 2 1 どうしようもあるまい
- 3 2 どうしたらよいか
- 4 3 どうなっているのか
- 1 2 つかりまつりてんや
- 2 1 ほんとうに乗りこなせるのか
- 3 2 きっと乗りこなすにちがいない
- 4 3 必ず乗りこなしてみせましょう
- 1 初めは不気味に見えた
- 2 とにかく頼もしく見えける
- 3 初めはうまくいこうと思えた
- 4 とにかく頼もし見え

問二 傍線部ア(「たまはせ」)の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 サ行四段活用動詞の未然形で、謙譲の意を表す。
- 2 サ行下二段活用動詞の連用形で、尊敬の意を表す。
- 3 サ行四段活用動詞の未然形で、尊敬の意を表す。
- 4 サ行下二段活用動詞の連用形で、謙譲の意を表す。

問三 傍線部(1)「暮下思ひわづらはれて」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 陸奥から頼朝のもとへ背が高く気性の荒い馬が献上されたものの、せつかくの馬を乗りこなせる者がどうしてもいなかったから。
- 2 陸奥から頼朝のために背丈が高い立派な馬が献上されたが、気性が荒くて頼朝自身はその馬を乗りこなすことができなかったから。
- 3 背丈が高く立派な馬とはいえ、誰も乗りこなせないような気性の荒い馬を持っていても飼育の費用がかさむばかりで役に立たないから。
- 4 陸奥から背丈が高く立派な馬を取り寄せて景時に世話を任せていたが、馬の気性が荒いため乗りたいと申し出る者がいなかったから。

問四 傍線部(2)「馬は、かならず人に乗らるべき器にて候へば、いかたなきも人にしごかはぬ事や候ふべき」とあるが、その解釈として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 人を寄せつけず大暴れる気性の荒い馬であれば、どんなに腕の立つ人でもしたがわねることはできないだろう。
- 2 馬は乗る人の資質を見きわめるものであり、どんなに気性が荒い馬でも乗り手を認めればおとなしなる。
- 3 馬とは人に乗られるという資質を持つものであり、どんなに気性が荒い馬でも人にしたがわぬはずはない。
- 4 馬を確実に乗りこなせるような人物であれば、どんなに気性が荒い馬が相手でもしたがわせることができる。

問五 傍線部(1)「かねて存知たりけるにや」の主語として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 頼朝
- 2 景時
- 3 経家
- 4 馬

問六 傍線部(4)「今はさやうにてこそあらめ」の解釈として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 今はそうかもしれない。
- 2 今はそのくらいだろう。
- 3 今はそつしよう。
- 4 今はそのままであつてほしい。

問七 本文の内容と合致するものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 経家はとらわれの身ではあつたが、馬の扱いが大変すくれているので頼朝に取り立てられた。
- 2 景時はもとと平家方に属していた経家が気に入られ、昔の前で恥をかかせてやうと考えた。
- 3 景時は経家の腕を試すために、陸奥からわざわざ気性の荒い馬を取り寄せて頼朝に献上した。
- 4 経家は馬の扱いを頼朝から教られ、馬を上手に乗りこなす技を皆に広めよう命じられた。

問八 「古今著聞集」と同じ時代に成立した作品を、次の1～5のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 1 「雨月物語」
- 2 「十六夜日記」
- 3 「平家物語」
- 4 「古事記」
- 5 「万葉集」

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

- (注)
- 1 西園さん兄弟：宮大工の西園常一と弟の橋二郎。
 - 2 もろけて：「もろくなつて」に同じ。
 - 3 えらみ：「運び」に同じ。
 - 4 ハリモミ：後に出てくるト松、サルオガセ、アオトリトマツとともに植物名。
 - 5 トルソ：胴体だけの彫刻。

(幸田文)「たての木 よこの木」による

問一 傍線部①～③のカクカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。解答番号は [1] ～ [3] です。

- | | |
|--|--|
| <p>① ガイして</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 景気のガイキョウが公表される 2 ガイハクな知識の持ち主 3 制度がガイガイカしている 4 ガンガイに住む動物 | <p>② チョウ間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 裁判を平ウチョウする 2 プッチョウツラで出迎える 3 友人を代表してチヨウウを述べる 4 天気が崩れるセンチヨウウがある |
|--|--|

問二 空欄 [1] ～ [4] に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選んではいけません。解答番号は [4] ～ [5] です。

- ③ ハバ
- 1 葉のフクサヨウが出る
 - 2 フクメンで顔を隠す
 - 3 最後に全てのフクセンが回収された
 - 4 根道のフクインを拡張する

問三 傍線部(a)～(c)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。解答番号は [6] ～ [8] です。

- | | |
|---|--|
| <p>(a) 承知が浅い</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 よくわかっていない 2 許しがたい 3 納得できない 4 あまり知られていない | <p>(b) 腑に落ちなかった</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ひげをとらなかつた 2 しまりがなかつた 3 なまけなかつた 4 合点がいかながかつた |
| <p>(c) 適宜に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 気ままに 2 おおざっぱに 3 場合に応じて 4 丁寧に | |

問四 傍線部(1)「木の死んだ」の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は [9] です。

- 1 曲げたり、彫刻を施したりといった人工的な加工をすること、材が本来もっていた性質を失った木のこと。
- 2 本性を保ちつつ長く材として役目を果たす間に自然に傷み、やがて材として使えなくなった木のこと。
- 3 材として長く役目を果たすうちにいつの間にか松や杉の本性を失い、材として完成した姿となつた木のこと。
- 4 火事で焼ける、虫に食われるなど、材として使用されること以外の原因で傷み、使えなくなつた木のこと。

問五

傍線部②「無沙汰に過ぎた十何年の年月を思い知らされた」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから

一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **10** です。

- 1 自分が既にむごいものを見たがらない年齢になってしまい、トド原の枯れ木の光景をまともに見ることができなかったから。
- 2 遠方のトド原まで出向き、枯れ木を歩いて見るためには、年齢を重ねて衰えてしまった自分の体力や気力では不十分だったから。
- 3 訪れあぐねている間に立ち枯れの木が崩れ、話に聞いているトド原の枯れ木はまばらに枯木が立つだけの風景に変わっていたから。
- 4 一つの間にかトド原の枯れ木が陽光地として宣伝され、花なども植えられて、枯木の墓所としての清浄さは既に失われていたから。

問六

筆者の考えと合致するものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **11** です。

- 1 立木から倒木へ、縦から横へと自然の法則に従って死を迎え、世代交代する木の潔さに対して、生にしがみつく人間の姿は中途半端で見苦しいと思っっている。
- 2 材としての木は立木から「木の死んだ」に至るまで縦だが、自然の木は立ち枯れ、倒木、傾いではずに懸かるものと、縦と横と斜の自由があると感じている。
- 3 材になっても自然のままであっても、外から余計な力を加えない限り本性を失わず、生きていた時の姿まで立往生する木の姿に気高さを覚えている。
- 4 木の生涯を、立木の姿で生き、生を終えて立ち枯れからあるいは傾いだ状態を経て、最終的には倒れて土へ還るといって、縦と横と斜の姿として見ている。

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

2

1

(注) 1 指物師：家具などを作る職人。

問一 傍線部①～⑤のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は「1」～「5」です。

- ① ボウ頭
 - 1 ボウダイな経費がかかる
 - 2 川にテイボウを築く
 - 3 相手の熱意にダツボウする
 - 4 ボウケンの旅に出る
- ② 優ガ
 - 1 ネンガの挨拶に出向く
 - 2 伝統的なガガクを鑑賞する
 - 3 まいた種がハツガした
 - 4 相手をシガにもかけない
- ③ ケン示
 - 1 ケンチヨな効果が見られる
 - 2 動物にもケンリを認める
 - 3 ケンボウを制定する
 - 4 二人の仲はケンアクだ
- ④ カン弦
 - 1 困難にもユウカンに立ち向かう
 - 2 市町村がカンカツする区域
 - 3 小銭をカンジョウする
 - 4 杖のカンツメを開ける
- ⑤ トじ
 - 1 連日の作業でヒヘイした
 - 2 町村がヘイゴウされる
 - 3 弟の身勝手にヘイコウする
 - 4 舞台を幕でシヤヘイする

4

3

(森本哲郎『生き方の研究』による)

問二 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 6. 7.
(a) 吐露した
1 思っていることを述べ尽くした
2 言葉遣いに構わず話し続けた
3 吐き捨てるように言い放った
4 隠していた本音が口に出た
(b) 繰り返言
1 相手の意のままに操縦する話術
2 つぎつぎと繰り返される悪口
3 くどくどと繰り返される愚痴
4 忘れていた過去の話題

問三 空欄A・Bに入れる言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 8.
1 A 世界観 B 好奇心
2 A 理想像 B 向学心
3 A 人生論 B 上昇志向
4 A 処世術 B 向上心

問四 空欄I・II・IIIに入れる言葉として最も適当なものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選ぶことはできません。解答番号は

- 9. 11.
1 無常 2 多元 3 革新 4 遺産 5 虚無

問五 傍線部(1)「過去からのこのような批判」とは、どのような批判か。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 12.
1 過去の方が絶対的に優れているという、根拠に乏しい固定観念に基づいた、現在の文化に対する一方的な批判
2 新しい価値観を容易に受け入れることができます。伝統的な文化にしがちな価値観を見いだせない、頑なな多文化への批判
3 当世の文化は伝統と遺産の上に成り立っているという事実を欠かす、古い価値観を捨てず、古い文化への批判
4 先人が作り上げた文化的な価値をないがしろにし、それとのつながりを失っている現在の文化に対する批判

問六 傍線部(2)「真の教養」とは、どのような人間だと筆者は考えているか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 13.
1 伝統の価値を重んじ、美しいものをただ美しいとして受け入れることができる人間
2 完成された美的対象だけでなく、不完全な美も完全な美へと仕立てることができる人間
3 想像力豊かにもこと観察し、人々を魅了する独特な表現をすることができる人間
4 賢くならずとも心掛けており、漢語や漢文といった学芸を一通り身につけている人間

問七 傍線部A・Bの四字熟語のうち「徒然草」から見いだすことができるものを見よ。その説明として最も適当でないものはどれか。次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 14.
1 ア 温故知新
2 イ 不易流行
3 ウ 水波不変
4 エ 生生流転

問八 傍線部(3)「万の事も、始終こそさかしけれ」とあるが、この言葉の意味を筆者はどのようにとらえているか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 15.
1 物事の最盛期の美しさや、完成された美は、真の美ではない。
2 美しいことや楽しいことよりも、辛いことや悲しいことの中に真理がある。
3 美は、物事が始まってやがて終わりへと至る、その過程全体に宿る。
4 物事ははじめ、または終わりに美を見いだすこそ、真の教養人である。

問九 本文からは、次の一文を抜いてある。この一文を入れるべき場所として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 16.
1 本文中の(ア)
2 本文中の(イ)
3 本文中の(ウ)
4 本文中の(エ)

それを端的に要約するならば、前記のように、「なまめかし」くあれといふことであろう。

問十 本文の内容と合致するものを次の1～6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- 17.
1 兼好法師はゆとりのある生き方を理想としたが、当時の貧しい時代にあつてはそれはあくまで理想にすぎなかった。しかし、これからの日本の社会の豊かさを考えれば、今こそゆとりのある生き方を実践すべきである。
2 人生にとって最も大切なことは、節目とにいかにか生きていくかを見定めることである。そして、この問いに明確な答えを与えるためには、ものを静かに考えたり、生活を論じたりするゆとりが不可欠である。
3 「徒然草」を読むと、兼好法師が考える理想的な生き方、理想的な人物の条件が見えてくる。それは、学芸を身につけ、物事を全体としてとらえる視点を持つという、抑制された美しさを重んずることである。
4 多様な価値が認められるようになった現代に、兼好法師が理想とした「なまめかし」は通用しない。しかし、生き方に美を求め、善悪や美醜の判断を明確にする姿勢は現代においても重視されるべきである。
5 善悪や美醜などの価値観は時代によってうつろっているものである。一方で、何かに価値を見いだすという姿勢自体は人間が生きていく上で必須であり、時代に合わせた善悪や美醜の価値観をくりださなくてはならない。
6 現代の日本人は、先人が培ってきた歴史や文化の流れにならなくて、自分の理想の生き方を考えることがない。その上、みずから新しい理想を生み出すこともできていないため、生き方を考える価値観が混乱した状態にある。

大問二(古文)・三(現代文)は選択問題です。解答するいずれかの大問の解答欄の右上に必ずマークした上で解答下さい。

二 次の文書は、江戸時代の仮名草子『浮世物語』の一話です。原文の一部を改変してある。これを読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

- (注)
- 1 浮世坊：現在の大阪府のある大名に御咄の家として仕えている人物。
 - 2 歩若克：徒歩で仕える侍。
 - 3 京橋：大阪府と現在の京都府を結ぶ京街道の起点となる橋。
 - 4 野江・森口：大阪府の地名。
 - 5 佐田の宮：大阪府にある天満宮。
 - 6 平岡・橋本：平岡は大阪府の地名。橋本は京都府の地名。
 - 7 淀の渡り：京都府の木津川・桂川・宇治川の合流点。
 - 8 水野・横大路・島羽：京都府の地名。
 - 9 恋塚：淨徳寺(京都府京都市)の門前にある塚。
 - 10 城南寺：京都市にある神仏習合の神社。
 - 11 東寺口：京都市の東寺の南門。伏見・淀川方面への出口。
 - 12 山崎宝寺：京都府にある寺。
 - 13 都大宮：平安京の大宮大路の末端。
 - 14 中庸：論語と同じく四書のうちの一つ。
 - 15 五常：仁・義・礼・智・信。人が守るべき徳。
 - 16 友なはん：友達になろう。
 - 17 大幣裁忌：横柄で無礼。いばつな態度。
 - 18 家老殿：浮世坊が仕えている大名の重臣。

問一 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1~4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は1・2です。

- (a) まがふ事はあるまじ
- 1 嘘であるはずはない
 - 2 間違うはずはない
 - 3 主人のとがめを受けないだろう
 - 4 無事に家へ帰れるだろう
- (b) かまへて
- 1 元に戻って
 - 2 もう一度繰り返して
 - 3 すくに計画を立てて
 - 4 十分に注意して

問二 傍線部ア「給ふ」イ「待べり」の文法的な説明として最も適当なものを、次の1~4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は3・4です。

- ア 「給ふ」
- 1 八行四段活用動詞の終止形で、尊敬の補助動詞。
 - 2 八行四段活用動詞の終止形で、謙譲の補助動詞。
 - 3 八行下二段活用動詞の終止形で、尊敬の動詞。
 - 4 八行下二段活用動詞の終止形で、謙譲の動詞。
- イ 「待べり」
- 1 ラ行四段活用動詞の連用形で、丁寧の動詞。
 - 2 ラ行四段活用動詞の連用形で、謙譲の補助動詞。
 - 3 ラ行変格活用動詞の終止形で、丁寧の補助動詞。
 - 4 ラ行変格活用動詞の終止形で、謙譲の動詞。

問三 傍線部①「ねんごろに教へ給ふものかな」とあるが、浮世坊は、東寺口から京までの道筋をどのように教えているか。その説明として最も適当なものを、次の1~4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は5です。

- 1 東寺口から左に向かつて桂川のそばを通り、山崎宝寺から右へ行く都大宮の端に出るので、そこを北上する。
- 2 東寺口から右に向かつて山崎宝寺の方へ行くが、そうではなく右へ行く都大宮の端に出るので、そこを北上する。
- 3 東寺口からは、左に向かつて桂川・山崎宝寺の方へ行く都大宮の端へ北上するのと通りの道がある。
- 4 東寺口より出てしまつたら桂川の方へ向かい、右に出てしまつたら都大宮の端へ向かつて北上すればよい。

問四 傍線部②「中庸のかたはしを心得ちがへておぼえられし片取いた」とあるが「物知りたち」がそう言ったのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1~4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6です。

- 1 論語「中庸」の「道」は仁義の道を意味しているはずなのに、浮世坊と若克は道路の意味で引用したから。
- 2 若克は道路の意味で論語の「道」を引用し、浮世坊は仁義の道の意味で中庸の「道」を引用したから。
- 3 浮世坊が中庸に出てくる言葉を、あたかも自分の教えであるかのように若克に語って聞かされていたから。
- 4 浮世坊も若克も論語「中庸」については語っていないのに、二人の発言を語つてとらえてしまつたから。

問五 傍線部③「それよりあまり心得たる事有り」とあるが「傍なる人」は、どのようなことについて「言っているのか。その説明として適当なものを、次の1~4のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は7・8です。

- 1 「おのれにかさざる者を友とする事なかれ」を誤解して、自分が都合のよいことを言う人ばかりを集もうとする人がいること。
- 2 「おのれにかさざる者を友とする事なかれ」を誤解して、地位や経済状態などが自分に劣る人には横柄な態度を取り、付きあおうとしない人がいること。
- 3 「富んでおごる事なかれ」を誤解して、金銀をたくさんため込むばかりで使ひようを知らず、やたらとよしまな人物になつてしまふ人がいること。
- 4 「富んでおごる事なかれ」を誤解して、金銀を石や瓦のようなつまらないものとみなす態度を見せることで人々の尊敬を集めようとする人がいること。

問六 傍線部(4)「なめつけらる」の主語として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **8** です。

1 浮世坊 2 若党 3 さる物知りたち 4 家老

問七 本文の内容と合致するものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **9** です。

- 1 浮世坊が寝ているところに若党がやってきて道を尋ねたので、浮世坊は眠くいい加減な受け答えをした。
- 2 都まではわき道を通って行った方が早いので、浮世坊は都までの複雑な道のりを丁寧に教えてやった。
- 3 浮世坊と若党のやりとりを聞いた物知りたちは、浮世坊の道ちを止そうとしてそばにいた人に止められた。
- 4 門のところで論議・中斷のあった解釈についてしゃべっていた人たちは、忘れるなど家老殿に叱られた。

問八 「浮世物語」と同じ時代に成立した作品を、次の1～5のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は二つとも **10** です。

- 1 「天鏡」 2 「好色一代男」 3 「太平記」 4 「源氏物語」 5 「奥の細道」

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

(注)
1 トルストイ…ロシアの小説家。

(白洲正子)『思想としての文学』(岩波)

問一 傍線部①～③のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **1**、**3** です。

- ① カイ無
 - 1 一億円分のキンカイ
 - 2 カイショで氏名を記す
 - 3 第三者がカイニユウする
 - 4 カイキ日食の観測
- ② ミチビク
 - 1 暗闇でドウコウが開く
 - 2 建築のデンドウ入りを果たす
 - 3 ハンドウタイを開発する
 - 4 下校するジドウの安全を守る

- ③ トウ酔
 - 1 野菜の価格がコウトウした
 - 2 油揚げにネットウをかける
 - 3 霊前でアイトウの意を表す
 - 4 トウキのように滑らかな肌

問二 空欄 **1**、**2** に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選ぶてはいけません。解答番号は **4**、**5** です。

- 1 因果応報
- 2 諸行無常
- 3 自問自答
- 4 疑心暗鬼
- 5 前後不覚

問三 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **6**、**7** です。

- (a) 不審の念
 - 1 どうしても理解したいと思うこと
 - 2 怪しんで正体を感こうと思うこと
 - 3 はっきり分らないと思うこと
 - 4 信用できないと不安に思うこと
- (b) 峻烈に
 - 1 恐ろしく、残酷な様子
 - 2 激しく、厳しい様子
 - 3 賢く、冷静な様子
 - 4 強く、しなやかな様子

問四 傍線部ア～エの「ない」を文法的に分類し、組み合わせとして最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **8** です。

- 1 ア／イ・ウ／エ
- 2 ア・エ／イ・ウ
- 3 イア・ウ・エ
- 4 ア・イ・エ／ウ

問五 傍線部①「それらはすべて頭解明断とか利口とかいうこと、なんの関係もないものなのです」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **9** です。

- 1 智慧は論理的な思考の力ではなく、熱心さや真面目さといった人間性、精神性に基づくから。
- 2 智慧は分析的な知識を前提として、それが総合的な能力として発揮された結果だから。
- 3 智慧は知識のように他者が理解し共有することが不可能な、その人にしかないものだから。
- 4 智慧は分析的な知識ではなく、何かをなしとげるために発揮される総合的な能力だから。

問六 本文の内容と合致しないものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **10** です。

- 1 芸でも仕事でも突き詰めれば果てしないが、それは対象を切に望み真に愛するからである。
- 2 与えた分だけ相手からも見返りがあるだろうと期待して行動することは、良の愛とはいえない。
- 3 人は分析的な知識を得る快感に、それがなんのためのものなのかと問うことを忘れがちになる。
- 4 智慧は不幸と重荷を背負い、私を減じてそれを求める覚悟をもたなければ得られないものである。

問七 この文章についての説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **11** です。

- 1 ささきまな人物の逸話を引用しながら自分の思いを述べることで、自分の考える智慧のイメージを描き出している。
- 2 前半は禅宗を中心とした仏教、後半はキリスト教の考え方に触れながら、愛や幸福の追求という人間的なテーマを論じている。
- 3 智慧という語を手がかりとして、信仰や去能といった人間の精神的な営みに共通する苦悶の様相を描き出している。
- 4 古今東西の智慧にまつわる逸話を自在に引用して論を展開することで、幅広い知識が知的な思索を生み出すことを論じている。

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

2

1

(注)

- 1 中村元：日本の哲学者、仏教学者。
- 2 井筒俊彦：日本の言語学者、哲学者。
- 3 アニミズム：自然界のあらゆる事物に靈魂・精霊などの存在を認める考え方。

問一 傍線部①～⑤のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。解答番号は「1」～「5」です。

- | | |
|---|--|
| <p>① 分セキ</p> <p>1 セキベツの情がわく</p> <p>2 選手のイセキが発表される</p> <p>3 失敗の原因をツイセキする</p> <p>4 実験結果のカイセキに入る</p> | <p>② 反シヤ</p> <p>1 ケイシヤのきつい坂道</p> <p>2 布巾をシヤフツして消毒する</p> <p>3 シヤテキで原品を手に入れる</p> <p>4 シヤジクを流すような大雨</p> |
| <p>③ トクえ</p> <p>1 販売のソクシンに力を入れる</p> <p>2 要求に対してソクトウする</p> <p>3 犯人の身柄をついにホソクする</p> <p>4 センクな判断を避ける</p> | <p>④ 記サイ</p> <p>1 セキサイ可能な重罪を調べる</p> <p>2 庭のシヨクサイを手入れる</p> <p>3 各地の特産物を集めたサイジ</p> <p>4 企業がフサイを抱える</p> |
| <p>⑤ ク使</p> <p>1 クトウテンを正しく使う</p> <p>2 センク的な技術を開発する</p> <p>3 ミヤダイクの仕事に憧れる</p> <p>4 仏前に花とクモツをささげる</p> | |

4

3

(河合年鑑「日本人の心のゆくえ」による。出題の都合上、一部中略した箇所がある。)

問二 傍線部(1)の意として最も適当なものを、次の各群の1〜4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6、8です。

- (a) 1 ほんやりと 2 さっぴりと 3 さっぱりと 4 はっきりと
(b) 1 丁寧に 2 平易に 3 冗吉に 4 難解に
(c) 1 原因と結果とを取り違えること 2 物事の細部にとられないこと 3 物事の関係を単純にとらえること 4 論理よりも感覚を重視すること

問三 空欄(1)〜(4)に入れる言葉として最も適当なものを、次の1〜7のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選ぶのはいけません。解答番号は9、12です。

- 1 日常的 2 独断的 3 一般的 4 画期的 5 積極的 6 根本的 7 倫理的

問四 傍線部「れ」と文法的な意味・用法が同じものを、次の1〜4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は13です。

- 1 これまでの苦勞がしはれて涙が出た。 2 慣れない仕事をやらされて疲れた。 3 きつとやむにやまれぬ事情があるのだ。 4 すこし休まれてはいかがですか。

問五 傍線部(1)もどかしい感じが残る」とあるが、なぜか。その理由の説明として最も適当なものを、次の1〜4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は14です。

- 1 自分が説明のために使った言葉の意味を相手から次々と問い詰められて、場当たり的に答えているうちに結論が出てしまうから。 2 わかりやすく説明しようとして難解の事例を挙げると、事例の共通点が見えなくなり、言葉の意味がますます不明瞭になるから。 3 そもそも英語が苦手なため、英語にはない言葉や感覚の微妙なニュアンスを、うまく英語に置き換え表現することが難しいから。 4 相手に伝わるような明確な表現にならざるを得ないが、その表現がもともとの言葉の意味を過不足なく伝えていとは思えないから。

問六 傍線部(2)「もったいない」に示される日本人の「もの」に対する態度の背後には、仏教や日本古来の宗教的な考えや感じ方がある」とは、とういふことか。その説明として最も適当なものを、次の1〜4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は15です。

- 1 「もったいない」は「もの」の存在に多様な意味を見いだす態度であり、その背後にはもの世界と人の意識とを一体化してとらえる日本古来の宗教的な感じ方がある。 2 「もったいない」は「もの」の存在に畏敬の念を強く態度であり、その背後にはその場に応じて主体と客体を自在に入れ換える日本古来の宗教的な感じ方がある。 3 「もったいない」は「もの」の存在に畏敬の念を抱く態度であり、その背後には人間の意識と世界を同一視し、生命のあるものとなしものとを区別しない仏教の考え方があり。 4 「もったいない」は「もの」の存在に多様な意味を見いだす態度であり、その背後には生命のないものも擬人化して生命と同等に扱う仏教の考え方があり。

問七 傍線部(1)「日本語の「心」という語に注目し、それが身体、心、魂までに及ぶ奥行きをもつことを明らかにした」とあるが、次の「心」を使った言葉のうち、「心」の意味が「心、魂」に近いものとして最も適当なものを、次の1〜4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は16です。

- 1 彼の身の丈は百八十センチを超えている。 2 爽められたことで、ますます身を入れて修行する。 3 腹も身のうちというし、食べ過ぎには気をつけたいものだ。 4 警官が人質の身代わりとなって拘束される。

問八 本文の内容と合致するものを次の1〜6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は17です。

- 1 ものを捨てるのは、不都合である。ものを捨てるのは、ありがたい、というような、ものに対する態度全般を「もったいない」という一語で言い表し得ることは、言葉の一つの意味を明確に定義せず、文脈に応じて適当に運用する日本語の特色をよく表している。 2 日本人にとって「もの」は「生命、生きもの」が第一義であるが、一方で言葉の意味は文脈に応じて適当に判断されるため、科学技術の分野などに限っては「もの」は「生命をもまない物質であり、人間が操作し得る存在である」という意味的な「物」とみなされている。 3 古来のアニミズムと仏教的な世界観の融合により「心」の領域を含むものとして「もの」をとらえる考え方が根づき、食べ物を粗末にしない、などの物質的な生活上の教養がそのまま人間の性や宗教教育につながるという意味において、日本人は宗教的な国民である。 4 ものでは豊かになったが、心は貧しくなった」という論調には、あらゆる物に神性を見いだすアニミズムこそ日本古来の精神であるという思い込みが見られるが、欧米人からエコノミク、アニマルと呼ばれるように、実際には日本では物質を重視する精神が強い。 5 現代の物質文明の中で日本人が接しているのは、物と心という明確な二分法を前提とする方法論によって成り立つ科学技術の産物である「物」であり、「心」の領域を含むものとして「もの」をとらえる日本の精神性ではにかには適切に扱うことが難しい。 6 物質文明における「心」の貧しさが指摘されることがあるが、それは「心」が「物」に豊かさを望んだ必然の結果であるという意味では「心」は豊かになったのであり、「心」の領域を含むものとして「もの」をとらえる日本の観点からの物質文明批判は成立しない。

大問二(古文)、三(現代文)は選択問題です。解答するいずれかの大問の解答欄の右上に必ずマークした上で解答しなさい。両方の大問に解答した場合、すべての解答が無効となります。

二次の文章は、鎌倉時代に成立した作品である『平家物語』の節です。藤原成経(少将成経)、俊寛(俊寛僧都)、平康頼(康頼法師)は、平氏討伐を企てたが失敗し、鬼界島に流罪となり、赦免の知らせを得てわびている場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

(注)

- 1 丹波少将殿、法勝寺執行御戻、平判官入道殿(少将成経)、俊寛(俊寛僧都)、平康頼(康頼法師)のことで。
- 2 熊野まで：藤原成経と平康頼は熊野信仰が深く、島に熊野権現を勧請し、屋敷を折った。
- 3 天魔波旬：天魔は天の魔王。仏道の妨げをする悪魔。波旬は天魔の別名。
- 4 入道相国：平清盛。
- 5 中宮：徳子。平清盛の娘で、高倉天皇の中宮となった。後の建礼門院。
- 6 鬼界が島：鹿兒島県沖の島。当時の流刑地。
- 7 札紙：書状を包むための紙。
- 8 執筆：書記役。
- 9 御へん：あな。
- 10 故大納言殿：藤原成親。丹波少将殿(藤原成経)の父親。俊寛らと平氏の討伐を企てた。
- 11 九州。
- 12 田のむの鵜の音づるる：田の面に鵜が訪れるように、あてにしている都からの音信が届く。

問一 傍線部(a)の(c)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は1～3です。

- (a) 例の熊野まうでして
- 1 あの有名な熊野へ詣でていて
- 2 あつ熊野が訪ねてきて
- 3 いつもの熊野詣でに出かけていて
- 4 ふだんは熊野へ詣でていて
- (b) かくなるといふも
- 1 このようになつたとしても
- 2 このままであつたというの
- 3 このようになつたというの
- 4 こういうものだとしても

- (c) よしなき謀反ゆまなり
- 1 つまらない謀反のせいである
- 2 謀反を起こす手立がないのだ
- 3 謀反とは無関係となつた
- 4 無益な謀反を計画したらしい

問二 傍線部ア「給へ、い、春る」の文法的な説明として最も適当なものを、次の1～6のうちからそれぞれ一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号はア4、イ5です。

- 1 尊敬の動詞
- 2 尊敬の補助動詞
- 3 謙譲の動詞
- 4 謙譲の補助動詞
- 5 丁寧の動詞
- 6 丁寧の補助動詞

問三 傍線部(1)「あわてふためき、はしるるともなく、倒れるともなく、いそぎ御使のまへに走りむかひ」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6です。

- 1 都からの使いか、自分たち三名を都へ連れ戻すために来たと言われたので、その場になかった二人を急いで呼び集めようとしたから。
- 2 俊寛僧都が一人である所へ都からの迎えが来たので、他の二人を出し抜いて自分だけ早く都へ戻り、勢力を取り戻そうと思ったから。
- 3 俊寛僧都が一人である所へ都からわざわざ流刑地を訪ねてきた人を見つけたので、自分も一緒に連れ帰ってやるよう頼もうと思ったから。
- 4 都からの使いが来たので、自分たち三名が許されて都へ戻れることを知らせに来たのではないかと期待し、早く事情を知りたかったから。

問四 傍線部(2)「思ひやう」の主語として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は7です。

- 1 少将成経
- 2 康頼法師
- 3 俊寛僧都
- 4 ゆかりの者ども

問五 傍線部(3)「何としてかは聞くべき」とあるが、この解釈として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は8です。

- 1 どうしても聞きたい。
- 2 そうして聞くのか。
- 3 どのようにしてでも聞かなければならない。
- 4 どのようにしても聞くことができない。

問六 本文の内容と合致するものを次の1～6のうちから二つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は二つとも9です。

- 1 俊寛僧都は、他の二人のように熱心に熊野詣でをしなかったため、神の加護をうけられず、都へ戻る許しを得られなかった。
- 2 都から鬼界が島へ来た使いは、帝の中宮の出席の無事を折願するために流罪人に特別の赦免があるということ伝えてきた。
- 3 俊寛僧都は流罪に免せられた罪を少将成経の父になすりつけることで、少将成経に代わり罪を許され都へ戻らうと考えた。
- 4 三人のうち一人は都へ戻つてよいという通達を受けて、都に縁のない俊寛僧都は、他の二人に譲つて自分は残ることにした。
- 5 俊寛僧都は都からの使いを自分をつたふからかす悪魔だと勘違いし、夢か現実かわからなくなって使いを都に追い返そうとした。
- 6 都から鬼界が島へ来た使いに託されていた安否を尋ねる手紙は、少将成経と康頼法師のものだけで、俊寛僧都には一通もなかった。

問七 「平家物語」に間違が深い言葉として適当でないものを、次の1～5のうちから一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は10です。

- 1 たおやめぶり
- 2 盛春必衰
- 3 軍記物語
- 4 琵琶法師
- 5 和歌三行文

三次の文章は、筆者が法隆寺を訪れたときのことを書いた随筆です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

ここにテキスト

14

13

- 問一 傍線部①～③のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。ただし、マークしなさい。解答番号は [1] ～ [3] です。
- ① トウ底
- 1 文壇へのトウリスウモン
 - 2 目標にトウタツする
 - 3 ビョウトウで働く看護師
 - 4 国をトウチする
- ② 草り
- 1 リトウに赴任する
 - 2 製品の質をカンリする
 - 3 検索レキを削除する
 - 4 ルリ色の海を眺める
- ③ サワがしく
- 1 場内がソウセンとする
 - 2 ソウキョウ百年の店
 - 3 ソウサイ選に立候補する
 - 4 議論のソウテンを確かめる
- 問二 空欄 [1] ・ [2] に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選んではいけません。解答番号は [4] ・ [5] です。
- 1 謎かけ
 - 2 反語
 - 3 詭弁
 - 4 面妖
 - 5 平凡
- 問三 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。解答番号は [6] ・ [7] です。
- (a) 懸案
- 1 予定しているが実現していないこと
 - 2 課題が多く実現が難しいこと
 - 3 断ることができない厄介な頼みごと
 - 4 判断を保留していること
- (b) 一瞥
- 1 たまたま出会うこと
 - 2 ふと心に感ずること
 - 3 一通り考えること
 - 4 ちらりと見ること

16

15

- (注)
- 1 壁面：法隆寺金堂内の壁画。本文は、壁画保存のための模写事業が行われていた昭和十五（一九四〇）年の出来事と考えられる。
 - 2 中村氏：日本画家の中村岳庵。壁画の模写を担当していた画家の一人。
 - 3 夢殿：法隆寺の建築物の一つ。安置されている秘仏の像は、聖徳太子の等身大の姿がモデルであるとされる。
 - 4 徒後の運動の講演者：当時、文芸春秋社を設立した菊池寛が文字者による読書運動（国民の戦争協力への自発性を引き出すための運動）である「文芸徒後運動」を提案し、作家達が各地を回って講演を行っていた。
 - 5 シンボライズ：象徴すること。
- 〔広津和郎「夢殿の救世観音」による〕

問四 傍線部①「私はこの一行に途中から遅込んだ」とあるが「私がその一行に加わった経緯はどのようなものか。その説明として最も適切なものを、次の1〜4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 8 です。

- 1 文芸春秋社の招待を受けて奈良旅行に参加したところ、小島政二郎が教え子で京都の美術研究者である森君に京都、奈良の美術を案内してもらう計画をしていることを聞き、早速その仲間に加えてもらった。
- 2 文芸春秋社が、京都の美術研究者である森君を案内役として京都、奈良の美術を見て回る旅行に招待してくれたので、よい機会だと思い森君の教え子である小島政二郎を誘って参加することにした。
- 3 小島政二郎の教え子である森君を案内役として、京都、奈良の美術を見て回る計画をしていたところ、折良く文芸春秋社が「私」たちを奈良旅行に招待してくれたので、その機会に乗じて行った。
- 4 文芸春秋社が奈良旅行に招待してくれたため、仲間に入れてもらった。

問五 傍線部②「夢殿の教世親音がそれ等のすぐれた仏達の一番中央に位置しているものような気がする」とあるが、なぜか。その理由の説明として最も適切なものを、次の1〜4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 9 です。

- 1 一見大したものとは見えないが、じっと見ているうちにモナリザにも通じるような複雑で美しい表情をしていることに気づかされるから。
- 2 傑作とされる仏像の多くは気高さと立派さが際立っているが、教世親音はそうした要素よりも人間の早近感の要素を多く含んでいるから。
- 3 美しさと立派さ、気高さと力強さ、さらには肉感、地上的な要素など、他の仏像が個別に持っている魅力を含んで取り込んで作られたから。
- 4 自らの過失や煩惱も、人々の過失や煩惱も理解し許し救って行くと感じさせる、複雑で深刻な仏の姿が一つの像として具現しているから。

問六 傍線部③「その事を書き添えることは、決して無駄な事ではないと思う」とあるが、本文に「その事」を書き添えた筆者の思いとして最も適切なものを、次の1〜4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 10 です。

- 1 そもそも教世親音は全ての人々を救うはずの存在であり、実際、いざ厨子の鍵を開ければ許可など取らずともその場にいた者が拝観を許されるのならば、なにも鍵を付けて秘仏とする必要はないではないかと不満を感じている。
- 2 その場に居合わせたものは教世親音と無縁ではないのだから拝観を許されるのは当然であると理解できるものの、自分たちが苦勞して交際した結果得た拝観の機会に居合わせた人々が乗じるのを見て複雑な気分になっている。
- 3 秘仏の厨子を開けた際に居合わせた人が入つてくることをやみじくがめず、おくってきた人にも拝観させてやる若い坊さんの優しさに触れ、近頃の死んだ東京からやってくる筆者は、改めて人間の礼儀を教えられたような気がして、快い感動を感じている。
- 4 坊さんが鍵を開けたままにしたために居合わせた人たちに拝観を邪魔されて暗唾腰になりかけていたが、静かに順番を待つようすとす坊さんの清らかな態度をみて、自分の狭量さを思い知り、恥ずかしい気分になっている。